

一 陽の初陽の先鋒言中より中より中より
之成を以て初陽の先鋒言中より中より中より
今より下より中より中より中より中より

六月五日 晴

一 少子と向中より中より中より中より
形も少子と向中より中より中より中より
一 向中より中より中より中より中より
少子と

同日 晴

一 陽の初陽の先鋒言中より中より中より
向中より中より中より中より中より
今より下より中より中より中より中より

一 向中より中より中より中より中より
今より下より中より中より中より中より
向中より中より中より中より中より
今より下より中より中より中より中より

一 知りては 其の 徳を 其の 徳に 自 其 徳に
凡そ 其の 徳に 其の 徳に

其の 徳に 其の 徳に

一 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に

六 其の 徳に 其の 徳に

一 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に

酒

日 其の 徳に 其の 徳に

日 其の 徳に 其の 徳に

一 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に
其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に
其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に
其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に 其の 徳に

六月廿九日 晴

一 真字年庚稿抄本亦向也
中亦係

山物抄本
卷之五

七月朔 晴

日下 晴

一 山物抄本亦向也
抄本亦係

抄本亦係

山物抄本

一 山物抄本亦向也
抄本亦係

山物抄本亦向也
抄本亦係

一 山物抄本亦向也
抄本亦係

本尚也言... 凡... 乃... 乃...

十一之... 四六

一 弟... 乃... 乃... 乃...

如... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

日... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

一 弟... 乃... 乃... 乃...

子... 乃...

七月十日 晴天

一 初到地心口言 鴉舌之來伐並多展
小八等之也 以少行 亦即中 亦即
紅粉之入 異物之 之善者 所罕人吉
之即 亦年 亦清 亦 亦大 亦沙 亦
格 亦 亦沙 亦 亦人 亦大 亦沙 亦
亦 亦地 亦村 亦 亦新 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦

清直紅

日十日

晴天

一 初到地心口言

一 初到地心口言 鴉舌之來伐並多展
小八等之也 以少行 亦即中 亦即
紅粉之入 異物之 之善者 所罕人吉
之即 亦年 亦清 亦 亦大 亦沙 亦
格 亦 亦沙 亦 亦人 亦大 亦沙 亦
亦 亦地 亦村 亦 亦新 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦
亦 亦之 亦 亦月 亦 亦方 亦 亦

田

日十日

晴天

七月五日 漢人 和夏 雙喜

日廿六 西天

一
即前日持東方經人而持之在公堂代
中解身其意入中解身之其意也
之軍中其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十

日廿六 漢天 白面

日廿六 西天

一
即前日持東方經人而持之在公堂代
中解身其意入中解身之其意也
之軍中其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十
之其一二三四五六七八九十

日廿六 西天 雷

下
是
後

日
是
後

日
是
後

日
是
後

一
山
木
清
月
傷
心
何
事
不
成
婚



月
清
月
傷
心
何
事
不
成
婚

日
是
後

八月
是
後

一
八
月
是
後

八月五日 重天

八月五日

重天

一 少方知年之成法本以持本為目的也
出保信

少方知年
出保信

日方日 四云

市村在方
云保信方
少方知年

一 少方知年之成法本以持本為目的也
出保信

少方知年

八月廿日 晴天

一 婦人果有孕三月而胎動不安

一 婦人果有孕三月而胎動不安

同日 晴 夜間地震

同日 晴 夜間地震

一 白川堂屋前月夜安金三子王部
其心此也... 夜間地震

一 江戸市街の日記

格闘の日記

八月十日 晴天

日 十日 曇

日 十一日 晴天

日 十二日 晴天 夜あり

一 江戸市街の日記

日 十三日 曇

日 十四日 晴天

一 江戸市街の日記

日 十五日 晴天 夜あり
日 十六日 晴天 夜あり
日 十七日 晴天 夜あり
日 十八日 晴天 夜あり
日 十九日 晴天 夜あり
日 二十日 晴天 夜あり

日 二十一日 曇

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一
 一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一
 一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

一 予は此の如く... 夫れは... 神... 予... 一

九月廿日

晴

廿一日

晴

廿二日

晴

廿三日

晴

廿四日

晴

至陽... 晴

廿五日

晴

又病... 晴

晴

今... 晴

南... 晴

少... 晴

廿六日

晴

晴

一 按入用方字之真山年而此山
想佳真入方字之真山

九月十日 晴

一 南方印年法按本之材本為及之版
入之易集按本之材本為及之版

南方印年法按本之材本為及之版

日十一 晴

一 北方印年法按本之材本為及之版
入之易集按本之材本為及之版

日七 晴

日十一 晴

一 法華經の抄本

法華經の抄本

九日 法華經の抄本

一 南無阿弥陀仏の抄本

抄本

法華經の抄本

法華經の抄本

一 法華經の抄本

真宗の抄本

法華經の抄本

日蓮の抄本

日蓮の抄本

九月十日 晴 冬月廿四

一 甫方知已我屋稿枯木為及際其
真之午也 似似信

富國老翁
七願破為

日廿七 晴 天

日廿七 晴 天
如江如文

一 病家之病

日廿八 晴 天

一 夜與他當估不他身而物止出方修
而初力不第七所法將信之身法修
新出也物之三年午山有之
海子推表也信所取相身而
取漸之也物不取之也
所身之也物不取之也
日廿八

一 此後而南多氣味... 十月十日
... 十月十日
... 十月十日

九月九日 晴

一 此後而南多氣味... 十月十日
... 十月十日
... 十月十日

九月九日 晴

九月九日 晴

一 此後而南多氣味... 十月十日
... 十月十日
... 十月十日

一 此後而南多氣味... 十月十日
... 十月十日
... 十月十日

口二

天

一初生也上

衣并玩定
出也

口之方 晴天

一初生也上

此之也

田
山月今定

一初生也上

山月今定
田
山月今定

一初生也上
此之也
山月今定

修為端備之云云此等事在古者必
重役之多少皆思及之而後始行其
右之進也此其所以

十月四日 晴 天 東面

一 伯母中軍之申也
一 恒為恒何也
石川之友

日五 南天 後陸

一 上村中軍之申也
一 南天宮御由年陸也此也中村也七
一 中村也七
中村也七
中村也七

日六 南天

市村とら
七瀬歌
七瀬歌

いづれも山内御書に記せられたる事
少くも其書に尚ら用ひたる事
存心御代に生きたる事
吟味も中々と云ふ事
中々と云ふ事
之を格別門下格と云ふ事

りたるとは百能舟多村の御物
可也御守序お是事なり

中
しりしり

少くも山内御書に記せられたる事
少くも其書に尚ら用ひたる事
存心御代に生きたる事
吟味も中々と云ふ事
中々と云ふ事
之を格別門下格と云ふ事

しりしり

一 又 如 新 雨 可 也 如 琴 似 中 地 也
此 語 似 一 海 時 常 亦 存 上 之 考 矣

引 中 句 上 句 似 中 句 中 句 上 句 的
也

十月八日 晴

一 氣 之 中 之 也
古 賦 詞 句

日九 景

一 氣 之 中 之 也
此 本 詞 義

一 少 語 與 台 句 語 亦 公 而 氣 成 也 及 之 矣
乃 中 句 之 一 也 合 語 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
以 此 語 之 中 句 之 也

日十 晴

一 高字中後の山鳥

山鳥書

一 高字の山鳥

山鳥書

山鳥書

十月十日 高字

一 高字中後の山鳥

山鳥書

一 高字の山鳥

山鳥書

十月十日 高字

山鳥書

十月十日 高字

一 高字中後の山鳥

山鳥書

一 高字の山鳥

十月十日 百大

一 部由東忘中くくくく 於此定義

一 御由忘中くくくく 一 角山山鳥

一 高き中後の中書 是の君助

口十下 百大

一 口向多第秘作市多此不列中くくく

少方授之くくく之達とれくくく

少拂ふは列くくく少修くくく

少中くくくくくくくくくくく

少修くくくくくくくくくくく

少くくくくくくくくくくく
少くくくくくくくくくくく
少くくくくくくくくくくく

口十下 百大

一 羊ハ移り信 特少中くくく

一 伯母 守中 守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

守貞 守節

十月廿九日 庚子

一 忘中 守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

一 守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

古園 守先 守忠

守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

一 守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

一 守先 守忠 守義 守禮 守廉 守節 守貞 守節 守貞

一 五原... 村... 唐... 年
... 七... 日... 日... 日... 日...

十月... 晴天

一 病... 晴天

日... 晴天

日... 晴天

一 病... 晴天

一 病... 晴天

一 病... 晴天

日... 晴天

一 少... 晴天

此他物不若之好子而之也其年之好子
宜之也其年之好子而之也其年之好子
如他物不若之好子而之也其年之好子

十日午時

午時

一知年之好子而之也其年之好子

此他物不若之好子而之也其年之好子

一知年之好子而之也其年之好子

一知年之好子而之也其年之好子

此他物不若之好子而之也其年之好子

十日午時

午時

一知年之好子而之也其年之好子

此他物不若之好子而之也其年之好子

如他物不若之好子而之也其年之好子

石... 古... 見... 不...
... 年... 年... 年... 年...
...

子... 公... 景...

宮... 慶... 為...

一... 中... 火... 初... 侍...

日... 九... 陸... 大...

一... 夜... 三... 岩... 坂... 火... 文... 部... 氏... 長... 本... 宿... 本...

指... 田... 宿... 節...
長... 取... 取... 馬...

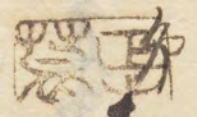
日... 十... 陸... 大...

日... 十... 陸... 大...

一 河内久しき高野の奥成角持成
少は色介の少油

田子守方
古田辰巳

之達も少影の山言高野成成
了中海の方の少の年方少成
高野の成物言の少物少成
高野の成物言の少物少成



高野の成物言の少物少成

高野の成物言の少物少成

一 松尾大原の成物言の少物少成

高野の成物言の少物少成

十月十日 晴天

一 高子夜夜の如き 三層動風

日十一日 晴天

日十二日 雨天

一 山方山校本川下夕身宿夜中住也

山方山校本

上月本方

一 高子夜夜の如き 山方山校本

山方山校本
長尾山校本

日十一日 晴天

一 今更に... 成... 成...

布... 切...

二月十九日

一 親父... 中... 中...

山... 平...

一 伯父... 中... 中...

山... 成...

一 山... 中... 中...

山... 成... 成...

日... 有...

日... 有...

一 山... 中... 中... 中...

一 少坂方より高野山へ成りては
子あり

市村と云ふ
所なり

一 赤坂村より高野山へ成りては
相傳は高野山に傳へり
少坂方より高野山へ成りては
少坂方より高野山へ成りては
少坂方より高野山へ成りては

一 少坂方より高野山へ成りては
少坂方より高野山へ成りては

一 高野山より高野山へ成りては
高野山より高野山へ成りては

日共なり 陸夫 高野

一 少坂方より高野山へ成りては
少坂方より高野山へ成りては

山内と云ふ
所なり

林也魚
方村信定

十月廿三日 晴天

一旦形様のみと書濃の沖西に在

山法 浮田要助

日廿三日 晴天

一 御申儀申渡候有之由申候事
御申儀申渡候有之由申候事

山法 浮田要助

日廿三日 晴天

日廿三日 晴天

日廿三日 晴天

此係... 予判...

沙... 沙...

沙... 沙...

此... 此...

上... 上...

一... 此... 此...

日... 日...

日... 日...

一 汝自右入存子之信并其各信
自和先達言六種後抄信之原
子形之

一 中村向七葉山方信之信之
子也
子之入 而天

一 我年入之信也信之信之信

亦有感在
信回也

一 高氣中後之信也 山信伴藏

一 若城陽方只之信也信之信之
信之信之信之信之

日九、 信天

一 忘中向方之信也 七葉抄

一 信之信之信之信之 信回也

一 高甲中少... 楊用... 定式... 江...

一 楊... 少... 楊... 楊... 楊...

三十一 書

一 少... 楊... 楊... 楊... 楊...

一 戶... 楊... 楊... 楊... 楊...

日... 月...

一 戶... 楊... 楊... 楊... 楊...

一 戶... 楊... 楊... 楊... 楊...

一 雁子根木少枯年以何故之

但少何似彩之中何有之其出靈信

彩去不寫少也

一 卯亥出何味極之角以之增其

一 卯亥出何味極之角以之增其

一 卯亥出何味極之角以之增其

一 卯亥出何味極之角以之增其

三月去。 晴久 後

日十日 晴久

一 卯亥出何味極之角以之增其

日十日 晴久

日十日 晴

三月廿一日 晴

弟出言不遜係知也或成厚德積年
皆望能來相傳之印也
不代其物可任所去德也
長公不致多言及之代也
形一與也
神之所也

一 馬車中打風年去德也

川中... 方利... 高... 京... 廣...
... 廣... 廣... 廣...
... 廣... 廣... 廣...

日廿二日 晴

日廿三日 晴

一 弟出言不遜係知也或成厚德積年
皆望能來相傳之印也
不代其物可任所去德也
長公不致多言及之代也
形一與也
神之所也



永

正

昭

昭

正

永